

震災・原発事故に全力で対応しなければいけないこの時期に、六本木のバーで超エロエロの痴態を繰り広げた拳げ句、議員宿舎に連れ込んでいた！妻で女優の水野真紀は何を思う――

激撮スクープ！

自民党代議士

後藤田正純

ハレシチすぎる不倫！

東日本大震災の復興、福島第一原発事故の収束・補償……。未曾有の災害のまったただ中にある日本で、政治の役割はいっそう重要さを増している。そんな中、六本木に現れたこの男は自分の職務の重さを、どれほど理解しているのだろうか。

何やら真剣な目つきで女性に語りかける後藤田氏。彼女をオトそうと必死なのか



女性と熱いキスを交わす後藤田氏。人目を気にせず1時間以上じゅれあっていた

東京・六本木のとあるバー。激しいダンスミュージックが鳴り響く中、数人の外国人がグラスを片手に踊っている。時計に目をやると、深夜の時を過ぎていく。そのカッパルは、人目を避けるように店内の片隅にあるテーブル席に座っていた。黒の高級スーツを着こなした40代の男は、なにやら熱心に語り続けている。一方、女はエレガントな巻き髪に黒いワンピースを着こなす妖艶な美女だ。

男は明らかにその美女にご執心の様子だ。女にしきりに酒を勧めながら、ギラついた目で、女の円らな瞳、そして、テーブルの下からのそく美脚をチラチラと眺めている。やがて男は女の肩に手を回す。そして……キス。女ははじめ嫌がるそぶりを見せていたが、酔いも手伝ったのだから、やがて男に身を任せた。男の本能に火がつく。男は女の胸元や臀部に手を這わせながら、激しく舌を絡

ませ始めた。それに飽きると、後ろから抱きつき、右手で胸をもみしだき、左手は太ももをなで始める……。

酒場でもそうそうは見られない、羽目を外しすぎたカッパルの痴態である。しかも、この男の素性を知れば、さらに眉をひそめないわけにはいくまい。実はこの男、国会議員なのである。自民党の中堅で、人気女優を妻に持つ代議士。そう、後藤田正純氏(41)なのだ。

\*

その日、永田町は朝から騒がしかった。5月23日、衆議院東日本大震災復興特別委員会では、谷垣禎一自民党総裁が、福島第一原発事故の処理に関し、海水の注入を政府の指示で中断させたかどうかについて菅直人首相を追及(のちに注入の中断自体がなかったことを東電が26日に公表)。首相は「海水を入れるという報告が上がっていないから、止めるなど

と言うはずがない」と答弁し委員会は紛糾した。この海水注入問題のゴタゴタによって自民党による内閣不信任案提出の気運が一気に高まっていくこととなる。

その日の夜、議員たちが会合へと出かけ始めた午後7時頃。件の後藤田氏は、銀座方面に黒塗りを走らせていた。後藤田氏は、00年に初当選(徳島3区)、現在4期目の自民党所属の衆議院議員である。「カミノリ後藤田」との異名をとった故。後藤田正晴を大叔父に持つ。

「政治力は大叔父に比べると、やはり見劣りします。元々、与謝野馨氏や園田博之氏と近しかったのですが、彼らが離党してからは、目立たなくなりまして。今は、昨年5月に若手議員らと結成した会派「新世紀」に所属しています。党の地震対策特別委員会の副委員長も務め、地元徳島の支援者を連れて何度か被災地にも足を運んでいます」(政治部デス

ク)

後藤田氏が向かった先は、銀座でも有名な高級中華料理店。政局に備えての会合、もしくは震災復興に向けた勉強会かと思いきや、1時間後、後藤田氏に伴われて出てきたのは、20代と思いき北川景子似の美女だった。実はこの女性、銀座の高級クラブXの人気ホステス。呆れたことにこんな時期に同伴出勤を楽しんでいたのだ。

「Xは政財界の大物や芸能人も通う銀座の高級クラブ。座っただけで5万円はします。中でも、後藤田さんお気に入りのA子ちゃんは、指名本数3位に入る超人気嬢です」(銀座クラブ関係者) 後藤田氏といえは、09年夏に「週刊女性」で、04年に結婚した女優・水野真紀(41)との不仲説が報じられている。二人は現在も別居状態です。後藤田氏は議員宿舎、水野は田園調布に購入した



27日、本誌の取材を受ける後藤田氏。青ざめた表情で記者の名刺を見つめていた



24日午前8時頃、議員宿舎から出てきたA子さん。雨を気にしてか、早足だった



24日の本会議場で。酒が残っているかのようない顔を甘い前夜の夢を見るのか



執拗にA子さんの太ももをなで回す。妻の水野には、なんと釈明するのだろうか

限られて(衆議院広報課) いる。

これまでも09年1月には自民党の鴻池祥肇議員、10年3月には民主党の中井治議員が、交際女性を議員宿舎に招き入れていたことが発覚、世間の非難を浴びている。にもかかわらず、後藤田氏もまた堂々と女性連れ込んだのである。

翌朝の8時頃、女性は一人で宿舎から出てきた。その5時間後、後藤田氏の姿は国会の本会議場であった。しかし、前夜の豪遊がたたったのだろう、真っ赤な顔で座る後藤田氏の目はどことなくうつろ、議事など聞ける状態ではなさそうだった。

この日の本会議は課税に関する諸国との協定に関する承認が主で、12分で終わったのだが、後藤田氏はその間にも目をつむってウトウトしてしまっ始末であった。

本誌は5月27日、西麻布の路上で後藤田氏を直撃した。後藤田氏は、くたくたのスーツにノーネクタイで、議員バッジもつけずに歩いていた。

「フライデーです。先日、銀座のホステスと一緒にいた時のことを伺いたいですか。」

「フライデーですか……。ああ、あの日のことは、酔っていて覚えていません。彼女と会ったのは(今回が)2回目です。あの店は、学生時代から通っていた店です。つい、あそこでは羽目をはずしてしまうというか……」

「トイレでは何をしていたのですか。」

「は？ トイレと言いますか？」

「トイレに女性と20分近く入ってらっしゃいましたね。」

「覚えていませんが……。気持ち悪くなくて、吐いてしまい、彼女に介抱してもらっていたと思うのですが……」

「あの日もテキキラ、ウォッカとね、随分飲んでしまいました……。私、お酒

に弱いんですよ……」

後藤田氏はスボンのポケットに手をつ込んで歩きながら、淡々と答える。

「その後、赤坂の議員宿舎に二人で行きましたね。」

「酔いつぶれてしまったので、彼女に送ってもらったんですがね。眠ってしまった。彼女はいつの間にか帰ってしまいました。議員宿舎に女性を泊めたことを暗に認めながらも、すべては酔った上でのことと言いたいようだった。」

「奥様はどう思われますかね。」

「実はもう報告しました。えらく叱られちゃいましたね。『いい加減にしろさー！』。宿舎は引き上げて、ウチに戻ってきたさい！』ってね。だから、僕も近々ケジメとして宿舎を出るつもりです。地震ですと自粛、自粛でしたんでね、そろそろいいだろう、ということと飲みに行ったらこんなことに……」

被災地の方々の気持ちを考えると、軽率な行動だったのでは。

「今引き受けている役職はすべて辞めます。(どこかさっぱりとした表情で)しばらく謹慎ですね。今回はね、私はフライデーさんに撮られて良かったとも思っているんですよ。これを機会に、本当に反省して、出直さないと」

最後は開き直ったのか、妻から相当お灸を据えられたのか、後藤田氏はそう答えると、六本木方面へと去っていった。

収束に向けての光明がまだはつきりとは見えない福島第一原発の事故、そして被災地の復興問題……。未曾有の困難に、与野党の枠を超え、国民の代表という自覚を持って事に当たらねばならない非常に時に、ハレンチ行為に及んでいた後藤田氏。本当に反省したかどうかは、今後示される行動で判断するしかない。

■ドコモ、au、ソフトバンクで、この六本木の夜の生動画が見られます  
3キャリアとも右記アドレスを入力するだけで今すぐアクセス!! <http://mfri.jp>



家で息子と実の両親の4人で暮らしています。マスオさん状態の後藤田氏としても、田園調布には居づらいのでしょうか」

(スポーツ紙記者)

中華料理店を出ると、後藤田氏はウキウキした足どりでA子さんとタクシーに乗り、A子さんが勤めるクラブXに向かった。しかし、これでこの夜が終わったわけではなかった。

それから約5時間後、後藤田氏の姿は六本木にあった。後藤田氏は、A子さんをアフターへと誘い出していたのだ。

店を終え、遅れてやってきたA子さんと合流したのは深夜2時頃のこと。ここで、冒頭にある人目もばからぬハレンチシーンが繰り広げられたのだ。

ハレンチ行為はキスとお触りだけでは

終わらなかつた。飲み始めて1時間が過ぎた頃、A子さんがトイレに立った。と、後藤田氏は後を追うように一緒にトイレに入ってしまったのである。実は、同店のトイレは男女共用で個室は一つのみ。二人は20分以上出でこない。まさか……。中何があったのか。これ以上詮索するのはよそ。

**熱い一夜のツケ**

現役の代議士として最大の問題シーンは、そのバーを出た後、目撃された。早朝4時過ぎ、二人は、なんと赤坂にある衆議院議員宿舎に入ってしまったのである。言うまでもなく、議員宿舎は地方選出の国会議員のために設けられた寮施設であり、「利用は議員とその同居家族に

バーから出て、タクシーへと向かう二人。車は赤坂議員宿舎へと入っていた



PHOTO 鬼怒川 毅 結束武郎 等々力純生